

パーマネントコース情報

大高竜亮

三重県のパーマネントコースは数年前に大幅に整理されてしまった。しかし、残ったコースはしっかりと運営されている。ふと降り立った関駅でリニューアルされたパーマネントコースを見つけた筆者は再度のチャレンジを決意する。

関宿コース

三重 No.15 JOA 公認 No.638
10 km 10 ポスト

東海道五十三次の第四十七番目の宿場町として栄えた「関宿」。その南側に広がる丘陵地帯を巡るコースが98年に誕生しました。以前は「関」というコース名で関西本線の北側を巡るコースでしたが、全面リニューアルされ、名称も「関宿（せきじゅく）」コースに変更されています。

スタート地点は2箇所になり、従来の関西本線「関」駅前と国道1号線を京都方面に2kmほどの「関町 B&G 海洋センター」。いずれも回るコースは一緒。マップは海洋センターと関駅前「鈴鹿亭寿司店」で扱っています。97年11月調査、1:10,000の大縮尺マップです。

鉄道沿いに流れる鈴鹿川と名阪国道を結ぶコース設定で、大半が分かり易い道路のため初心者でも安心して回れます。逆に、経験者だとちょっと退屈するかもしれません。

この日は前日に降り積もった雪が一面覆い尽くし、銀世界で21世紀最初のOLを楽しむこととなりました。

関駅前をスタートし、踏切を渡って南に向かいます。真っ白な耕作地を進むと間もなく建物が見えてきます。「関町第三水源浄水場」で、この横に真

新しい第1ポストがあります。

そのまま西に方向を転じ、川に沿って見通しの効く一帯を突き当たるまで進みます。一旦鉄道の北側に戻り、国道1号線を100m程歩きます。地図を見ると踏切から直接ポストへ小道が通じているように錯覚してしまいましたが、ここは国道に出るしかありません。直ぐに分岐があり、左手に入っていくと間もなく第2ポストに出会えます。

また直ぐに踏切を渡り、以降ゴールまで鉄道の南側を巡ります。川と鉄道に挟まれた狭い場所を抜け、車1台が通れるだけの幅しかない橋を渡ります。林の脇から川に沿って右折すると、小屋の前で第3ポストを確認。

ポストから川沿いを北上するほんの僅かな区間、低木が行く手を阻みます。この時季は何の支障もありますが、夏は気になるかもしれません。舗装道路に出たら道なりに上り坂をのんびり進むだけ。途中、「関町衛生センター」が左手に姿を現します。小径との分岐に第4ポストがあります。

第5ポストへは名阪国道への連絡路。狩猟期間のため、散弾銃を構えたハンターに遭遇。他にもハンターが居るか否かを訊ねてみると、ここから東側の山には入っているから、道も含めて立ち入らないようにとの忠告を受けました。下り坂に差し掛かると間もなく名阪国道の高架が見えてきます。トンネルを抜けて、左折すると目の前にポストがあります。

コースの最西端に向かって、名阪国道から暫しお別れ。道路をそのまま歩いていれば自ずとポストへ導いてくれますが、オリエンティアなら最短路を行きたいところ。雪の影響で殆ど判別つかない小道に分け入ると、林に入った時点で明瞭な小道であることが判明。通常ならかなり歩き易いルート

です。道路への坂道を上り詰めると第6ポストが迎えてくれます。

次の第7ポストへはちょっと面白い区間。一見、最短路に思えるルートを辿って行くと、下方にポストが見えるにもかかわらず行き止まりになってしまいます。私は林を抜け、何とか脱出しましたが、一本南のルートが正解のようです。

第8ポストへは名阪国道と並行した一本道。川の蛇行状態を見ると現在位置が直ぐに確認できますので、リラックスして歩いて行ける区間です。貯水槽の前に来れば嫌でもポストが目に入ります。

第9ポストはこのコース唯一のOLらしい山林ルート。これまで歩いてきた道路をそのまま進み、名阪国道の南側から回り込むルートもありますが、私は住宅地に上り、一気に東に進み、鉄塔を経てポストに向かいました。雪の影響もあり、やや分かり難いルートですが、コンタリングをしながら山肌を回り込むと、鞍部に到達します。ここから北東に緩やかに下る不明瞭なルートを発見できれば無事ポストに到達できます。実はここ、間違えて南東方面へ下って行ってしまい、引き返してポストへ辿りつきました。これまでのルートが一本道を歩くだけのという雰囲気でしたので、こうして迷いながらポストを探すのも面白いものです。

第10ポストもうっかりしていると分岐を見逃し、送電線の下に出てしまいます。正規のルートは分岐から僅かに登り、鞍部を越えて名阪国道関インターへのアクセス道路に抜け出します。実はこの最終ポスト、車で来る人はスタートする前に発見できてしまいます。橋を渡ると間もなく消防署が見えてきます。同時にポストも直ぐに目に入るでしょう。耕作地を西に向か

三重県下の PC は数年前に大幅に整理されてしまいましたが、残ったコースはしっかり手直しされて運営されている模様です。伊勢参りの帰り、た

ですね。このコースもこれまでに関コースを回ったオリエンティアも含め、多くの人に利用されて行ってもらいたいものです。

[illegible]